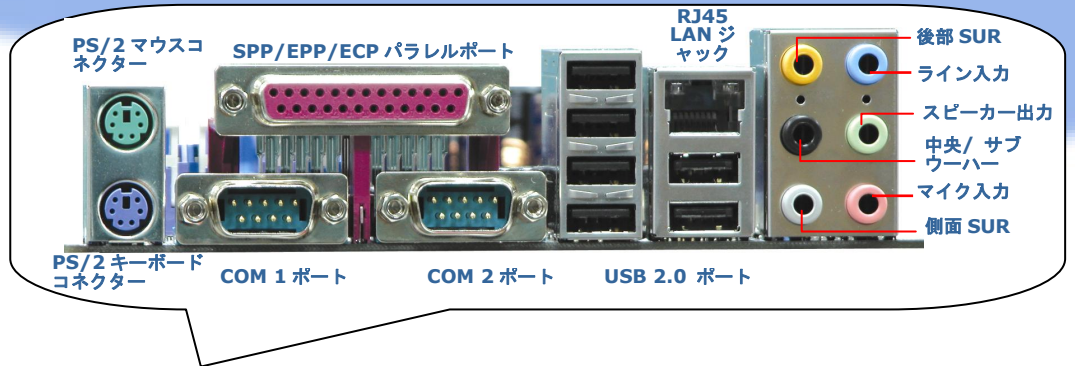


nCK804a-LFS / nCK804Ua-LFS



PCI Express x 16 Graphics Slot (8.0GB/s)

Onboard AC'97 CODEC

CD-IN コネクタ

S/PDIF コネクタ

フロントオーディオコネクタ

JP40 S/PDIF ソースジャンパ

ゲームポートコネクタ

32 ビット PCI 拡張スロット x 3

Case Open コネクタ

IrDA コネクタ

システム温度コネクタのセンサー

IEEE1394 コネクタ x 2

SYSFAN2 コネクタ

Serial ATA II ポート x 4
300 MB/s 転送率をサポート
(for nCK804Ua-LFS)

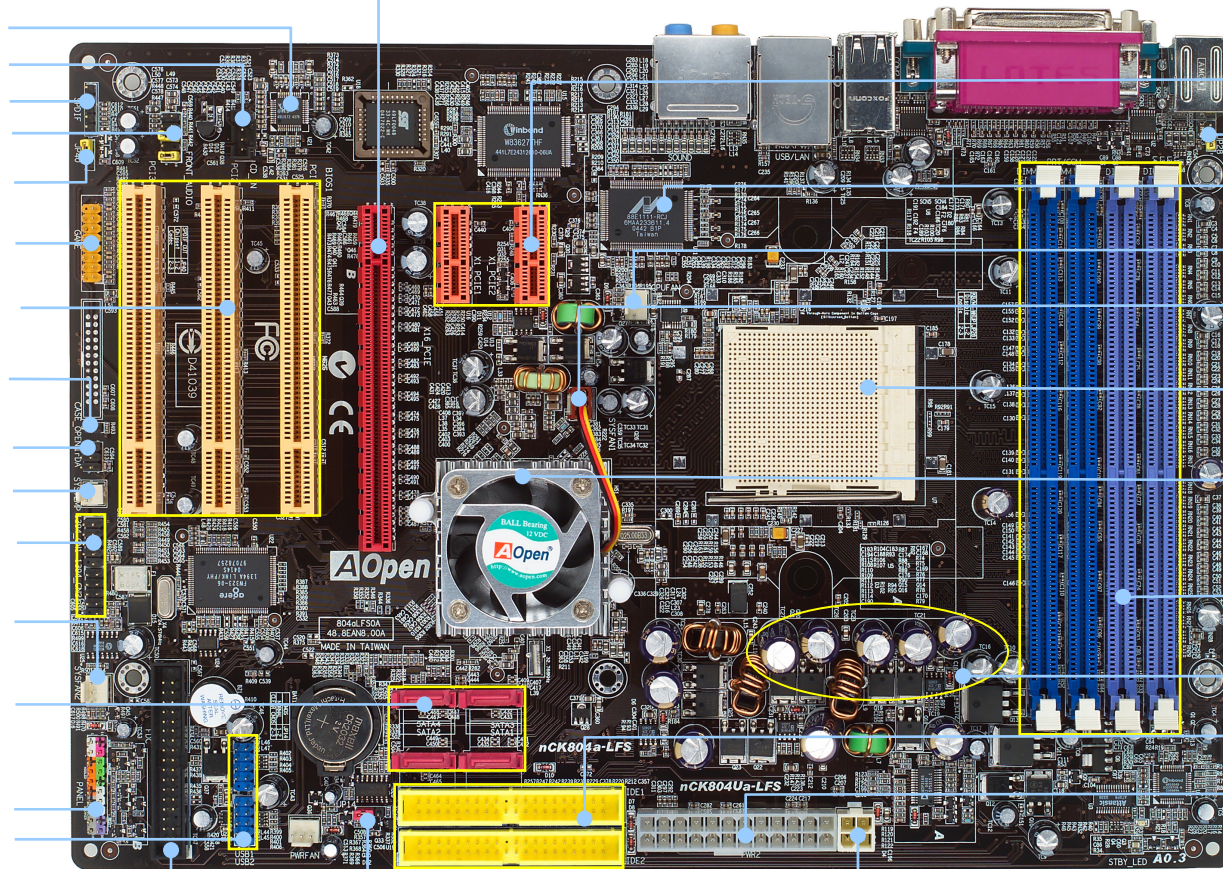
Serial ATA ポート x4 個で
転送速度 150 MB/s をサポート
(for nCK804a-LFS)

フロントパネルコネクタ

USB 2.0 コネクタ

FDD コネクタ

JP14 CMOS データクリア
ジャンパ



PCI Express x1 スロット x 2

JP28 PS2 KB/Mouse ウェイクアップ
ジャンパ

LAN PHY 88E1111

CPUFAN コネクタ

SYSFAN1 コネクタ

939 ピン CPU ソケット、
電圧及びクロック自動検出機能付き、
AMD™ Athlon™ 64 をサポート

NVIDIA nForce4 CK8-04
(nCK804a-LFS) / nForce4
Ultra CK8-04 (nCK804Ua-LFS)

184 ピン DIMMx3 で
DDR400/333/266 を
最大 3GB サポート

3300µF 低 ESR コンデンサ

IDE コネクタ x 2
(ATA66/100/133 をサポート)

ATX 電源コネクタ

4 ピン 12V ATX 電源コネクタ

インストールの準備

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

DIYでインストール

付属品チェックリスト

- イージーインストールガイドx1 式
- ユーザーマニュアルx1 式
- ボーナスポックCD x 1 枚
- Norton Anti-Virus CD x 1 枚
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- 80 芯線ATA 133 ケーブルx 1 本
- Serial ATA ケーブルx 1 本
- Serial ATA 電源ケーブルx 1 本
- I/O シールドx 1 式
- Silicon Image Serial ATA ドライバディスクx 1 枚
- CPU リテンションモジュール x 1 式

PART NO: 49.8EA09.JE1

DOC. NO: NCK804ALFS-EG-J0504A

1. CPU をインストール



12. ドライバーとユーティリティをインストール



2. CPU ファンとシステムファンをインストール



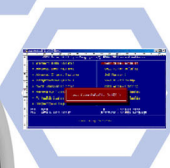
11. OSをインストール (例: Windows XP)



3. メモリーモジュールをインストール



10. デフォルトのBIOSをロードし、CPU周波数を設定



4. HD, CD-ROMとSATAディスク他をインストール



9. 後部パネルポートを接続 (Keyboard, Mouse, etc)



5. 前面パネルケーブルを接続



8. 他のデバイスをインストール(USB, Front Audio, etc)



6. ATX電源ケーブルをインストール



7. PCI Express x16グラフィックスカード、PCI Express x 1カードとPCIカードをインストール



Athlon™ 64

RAID

Serial ATA 2

Serial ATA

PCI Express

ATA 133

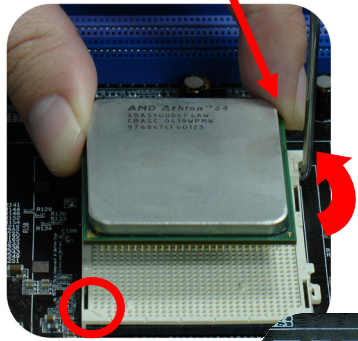
IEEE 1394

Gigabit LAN

1. CPU のインストール

当マザーボードは AMD[®] Athlon 64 Socket 939 CPU をサポートしています。CPU ソケットに差し込むときには CPU の向きに注意してください。

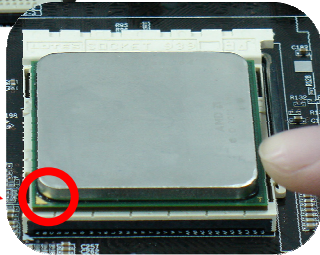
CPU ソケットレバー



1. CPUソケットレバーを90度の角度まで引っ張り上げる。
2. ソケットの1番ピンを確かめ、CPU上部にある金色の矢印を探す。1番ピンと金色の矢印を合わせる。次にCPUをソケットに差し込む。
3. CPUソケットレバーを押し込み、CPUのインストールは完了。

ソケット1番ピン

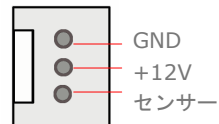
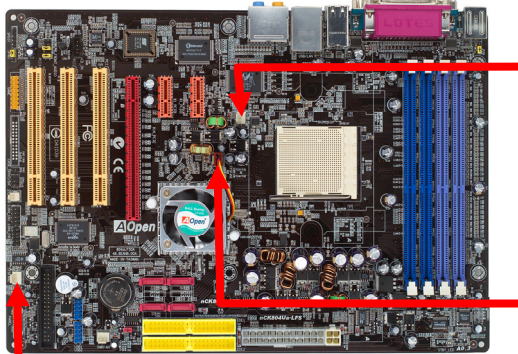
金色の矢印



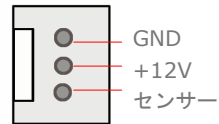
ご注意: CPUソケットの1番ピンとCPU切り欠き部分が合っていないとCPUに損傷を与えません。

2. CPU およびシステムのファンのインストール

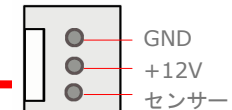
CPU ファンケーブルを 3 ピン CPUFAN コネクタに接続します。もしケースにファンがあれば、SYSFAN1 か SYSFAN2 コネクタに接続できます。



CPUFAN コネクター



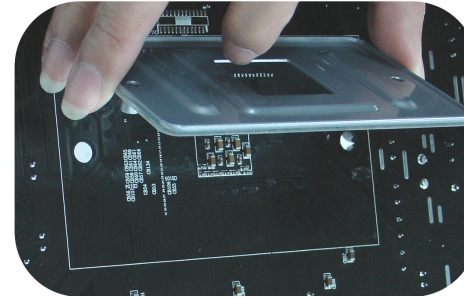
SYSFAN1 コネクター



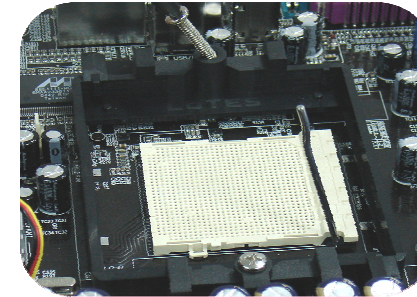
SYSFAN2 コネクター

メモ: CPUファンの中にはセンサーピンのないものがあるので、その場合にはファンのモニターをサポートできません。

3. リテンションモジュールのインストール



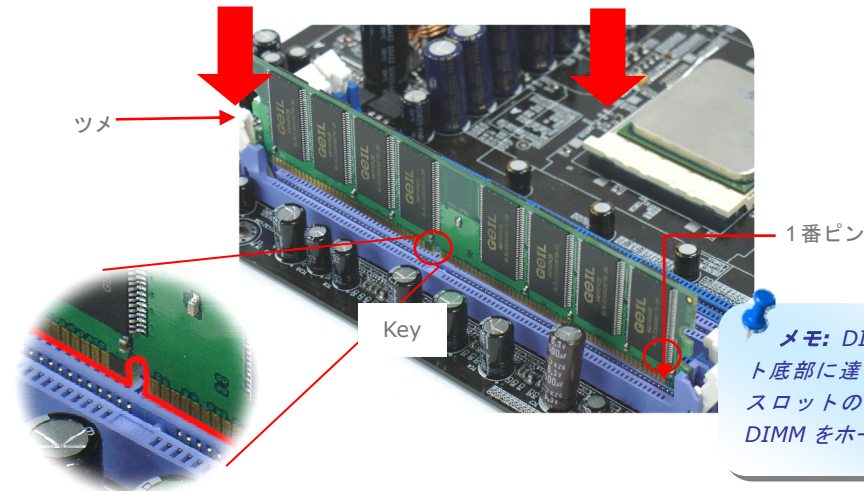
1. 粘着性のある面をマザーボードに貼り付けるため、2つネジのホルダーをネジホルダーの穴とそろえて下さい。



2. RMの両面の穴をそろえるために、マザーボードのホルダーをネジで留め、次にネジホルダーをロックして下さい。

4. メモリモジュールのインストール

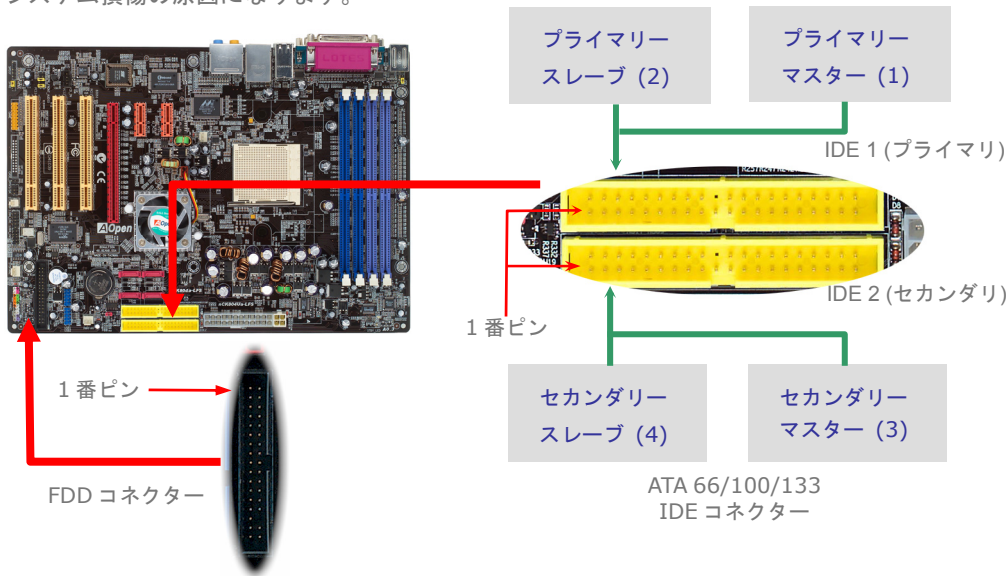
DIMMスロットは分かりやすいようにネイビーブルーに設計されています。モジュールを両手でまっすぐにDIMMスロットに挿入し、DIMMモジュールがしっかりと固定されるまで押し込んでください。



メモ: DIMM がスロット底部に達すると DIMM スロットのツメが起きて DIMM をホールドします。

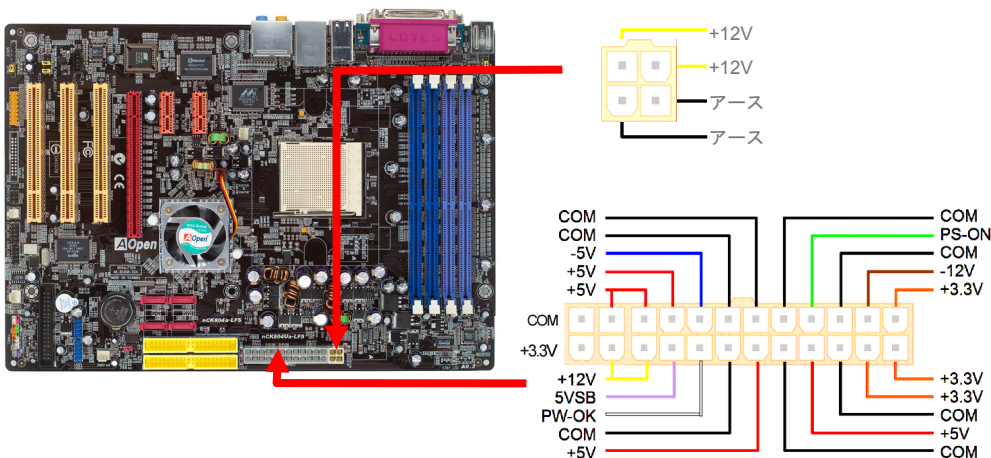
5. IDE およびフロッピーのケーブルの接続

34 ピンのフロッピーケーブルと 40 ピンか 80 ワイヤ IDE ケーブルをフロッピーコネクタと IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きに注意してください。向きを間違えるとシステム損傷の原因になります。



6. ATX 電源ケーブルの接続

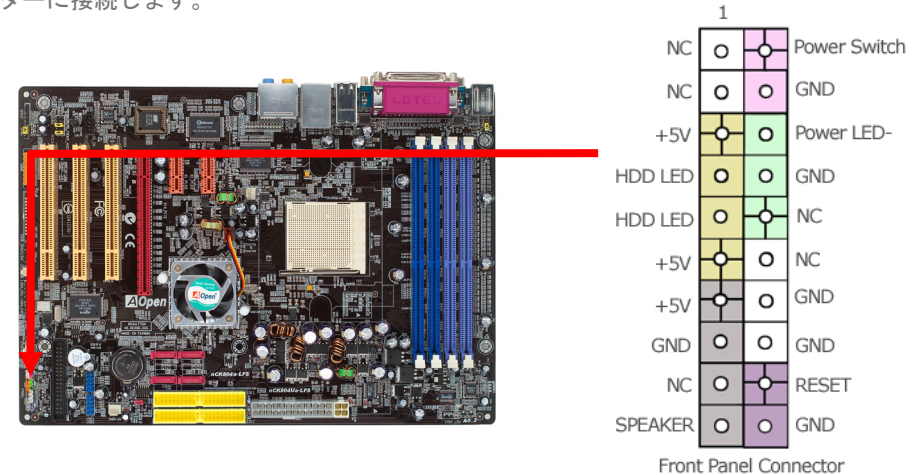
当マザーボードには下に示されているように、24ピンと4ピンの12V ATX電源コネクタがあります。正しい向きで差し込んでください。24ピンコネクタを差し込む前に4ピンコネクタを差し込んでおかれることを強くお勧めします。



7. フロントパネルケーブルの接続

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチコネクタを対応するピンに取り付けます。BIOS 設定の“サスペンドモード”の項目を有効にすると、システムが“サスペンドモード”になっている間、ACPI & Power LED が点滅します。

ATX ケースの電源スイッチケーブルを確認してください。ケースの前面パネルの 2 ピンのメスのコネクタです。このコネクタを SPWR と記されたソフトパワースwitchコネクタに接続します。



8. 電源オンおよびBIOS 設定のロード

ジャンパ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。"Load Setup Defaults"を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。

Del

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility

- ▶ Standard CMOS Features
- ▶ Advanced BIOS Features
- ▶ Advanced Chipset Features
- ▶ Integrated Peripherals
- ▶ Power Management Setup
- ▶ PnP/PCI Configurations
- ▶ Silent BIOS/HW Monitor
- ▶ Frequency/Voltage Control

Load Setup Defaults
Load Turbo Defaults
Set Password
Save & Exit Setup
Exit Without Saving
Load EEPROM Defaults
Save EEPROM Defaults
▶ Credits

警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, RAM, HDD等)がターボ設定の必要条件を満たしていることが明らかでない場合は、"Load Turbo Defaults"を選ばないでください。

CPU 電圧およびクロックの設定

CPUコア電圧を設定する

当マザーボードは、電源オン時にCPU電圧の自動検出を行う電圧ID (VID)機能をサポートしています。しかし、ユーザーがオーバークロックをする場合に、BIOSの中で0.80V~ 1.55Vの範囲を提供しています。元々のコア電圧をわずかに増加させると、CPUオーバークロックが上手くいくことがあります。

CPUクロックを設定する

当マザーボードはCPUジャンパレス設計で、CPUクロック設定はBIOSの1MHzずつのCPUオーバークロック機能から行います。**CPUコアクロック = CPU FSBクロック x CPU レシオ**。ただし、現在市場に流通するCPUは"倍率固定"、すなわちユーザーによるCPUレシオは調節不可能で、オーバークロックにはCPU FSBクロックのみが調節可能です。

BIOS設定 > クロック / 電圧制御 > CPUスピード設定

(オーバークロックは自己責任の元行って頂きますようお願い致します。)

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

CPUレシオ	4x から 25x step 1x まで
CPU FSB (マニュアル 調整)	FSB = 200 MHz-250 MHz 1 MHzずつのCPUオーバークロックによる

AMD CPU	CPU コアクロック	CPUクロック	L2キャッシュ	レシオ
Athlon 64 3000+	1800MHz	200MHz	512KB	9x
Athlon 64 3000+	2000MHz	200MHz	512KB	10x
Athlon 64 3200+	2000MHz	200MHz	512KB	11x
Athlon 64 3200+	2200MHz	200MHz	1024KB	11x
Athlon 64 3400+	2200MHz	200MHz	512KB	12x
Athlon 64 3400+	2400MHz	200MHz	1024KB	12x
Athlon 64 3700+	2000MHz	200MHz	256KB	10x

メモ：CPUのスピードは急速に変化するため、このインストラクション・ガイドを手にする時点ではより高速のCPUがあるかもしれません。この表は参照のためのものです。さらに情報は販売店までご連絡下さい。



メモ：オーバークロックのためにシステムがハングしたりブートに失敗する場合は、デフォルト設定に戻すために<Home>キーを使用するか、AOpenの"Watch Dog ABS"がシステムをリセットするまで5秒間待ってください。ハードウェアを再度自動認識します。



警告：現在のCPUでCPUレシオを調整していた場合は、新しいCPUに交換する計画をお持ちかもしれません。新しいCPUに交換するときは、設定値に戻すために、<Home>キーあるいはClear CMOSをお使い下さい。というのは、システムは依然として新しいCPUに対して前のCPUの設定を持っているからです。

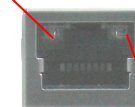
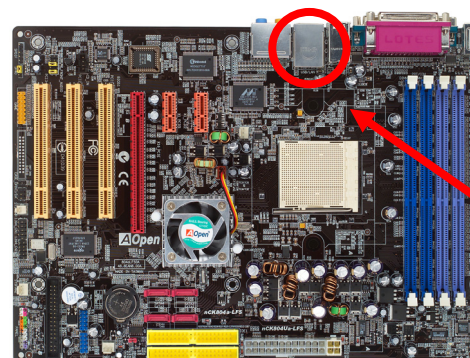
Gigabit LAN onboard

ボード上のギガビット LAN コントローラーの強度については、当マザーボードはオフィスと家庭の用途のために 10/100/1000Mbps Ethernet を提供しています。Ethernet RJ45 コネクターは USB コネクターの上部に位置しています。右側の LED はリンクモードを示していて、ネットワークとリンクされているとオレンジ色に点灯します。左側の LED は転送モードを示していて、データが 100Mbps (10Mbps だと点灯しない)で転送されていると緑色に点灯します。しかしギガビットモードで転送されているとオレンジに点灯します。この機能をオン・オフにするには BIOS を通して調整してください。LAN の起動機能をオンにするには、BIOS の"Power Management Setup"セクションで"Wake on PCI Card"をオンにセットしなければなりません

速度 LED (左)

緑色 100Mbps

オレンジ色 ギガビットモード

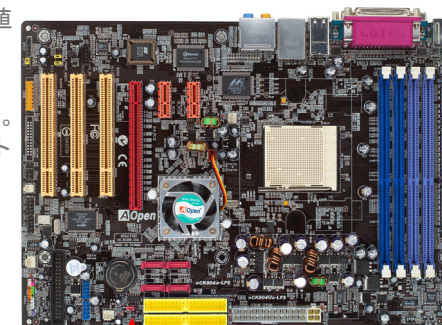


ACT LED (右)
オレンジ色

JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に挿します。



1 番ピン



1 2 3
正常値
(設定値)



1 2 3
クリア-CMOS

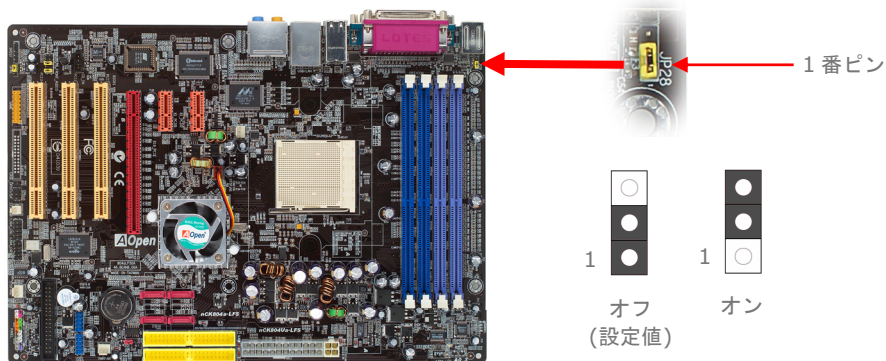


ヒント：CMOS クリアが必要な場合は？

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

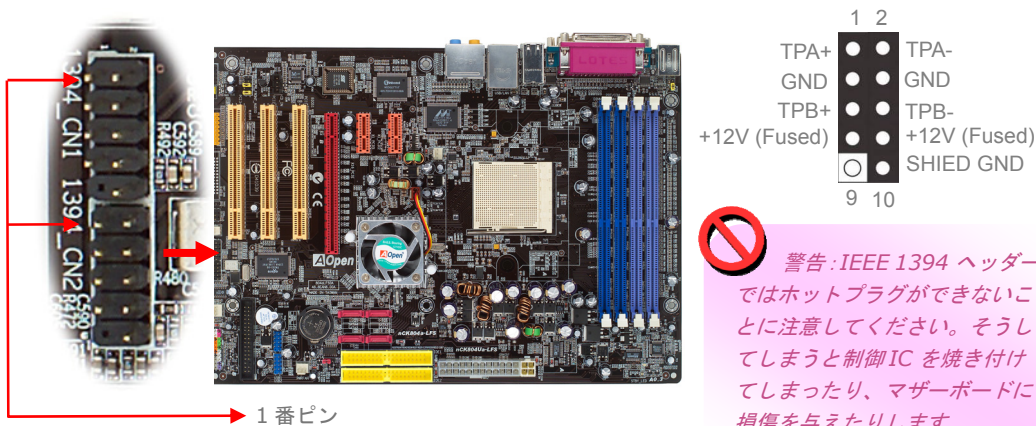
JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

当マザーボードはキーボード / マウス・ウェイクアップ・ジャンパー機能を提供しています。この機能のオン・オフはP28を使って行います。キーボードあるいはマウスを使ってシステムをサスペンド状態から再開できます。工場設定値は“オフ”(1-2)ですが、ジャンパーを2-3に設定することで、この機能をオンにできます。



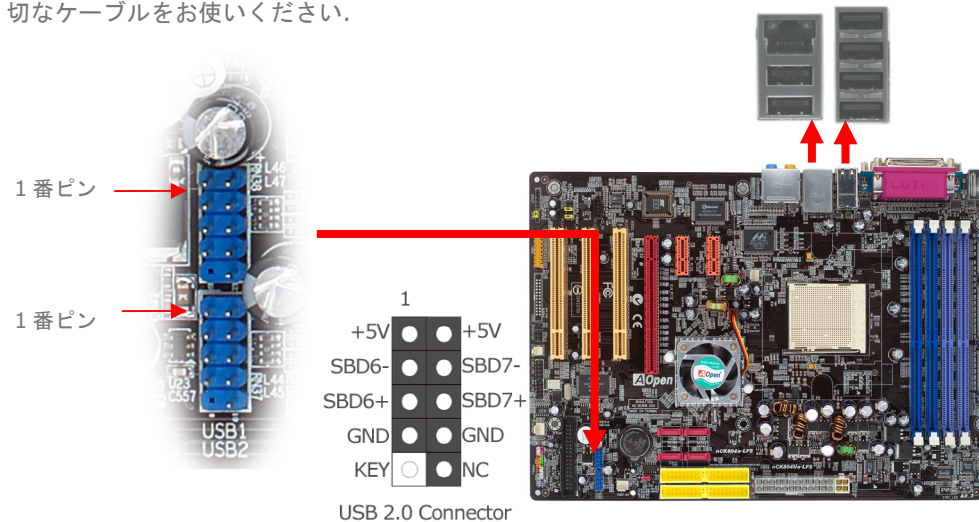
IEEE 1394 コネクタ

当マザーボードにはボード上に AGERE 1394 コントロールチップが付属しており、IEEE1394 チップによって、400Mb/s までのデータ転送率を提供しています。このインターフェイスは高速のデータ転送パフォーマンスを要求するデジタルカメラ、スキャナーなどの他の IEEE 1394 デバイスと接続できます。IEEE 1394 デバイスと接続するには適切なケーブルを使用してください。



USB 2.0 コネクタ

当マザーボードはマウス、キーボード、モデム、プリンターなどの USB 装置に接続できるような 10 個の USB 2.0 ポートを備えています。後部パネルにはポートが 6 つあります。フロント USB コネクタを USB モジュールやケースのフロントパネルに接続するために適切なケーブルをお使いください。



AOpen ボーナスパック CD

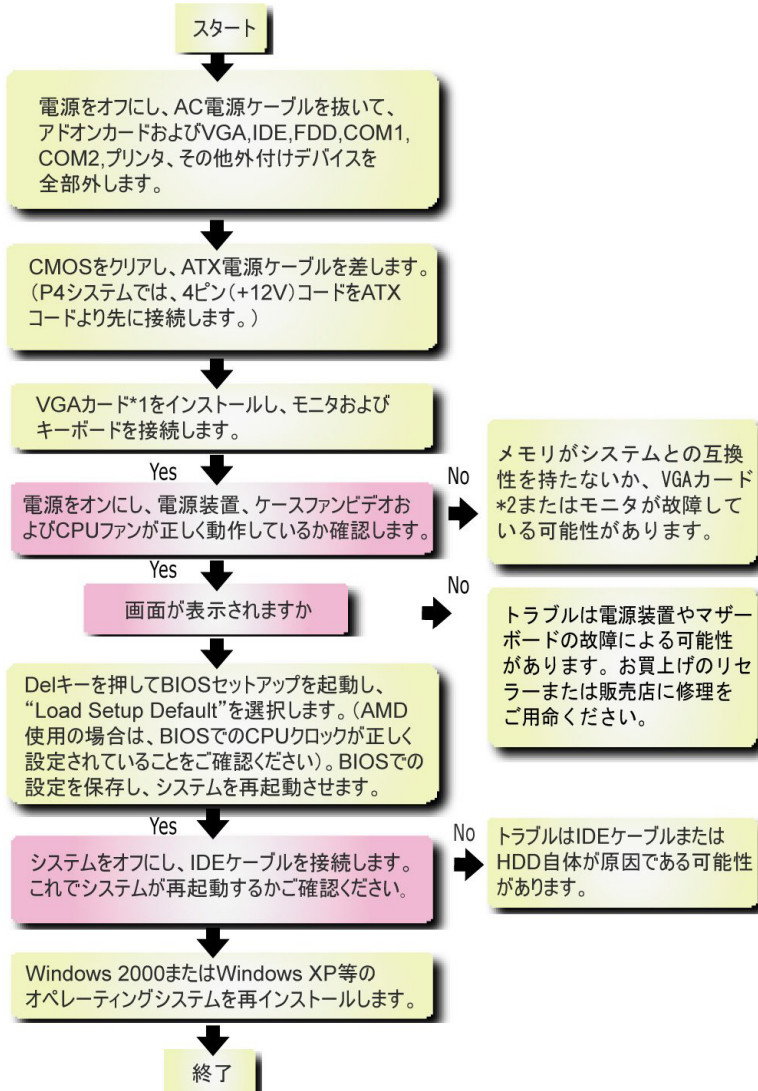
ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。左側のアイコンからユーティリティやドライバを選び、“GO”ボタンを押せば、インストールは最後まで自動的に行われます。





トラブルシューティング

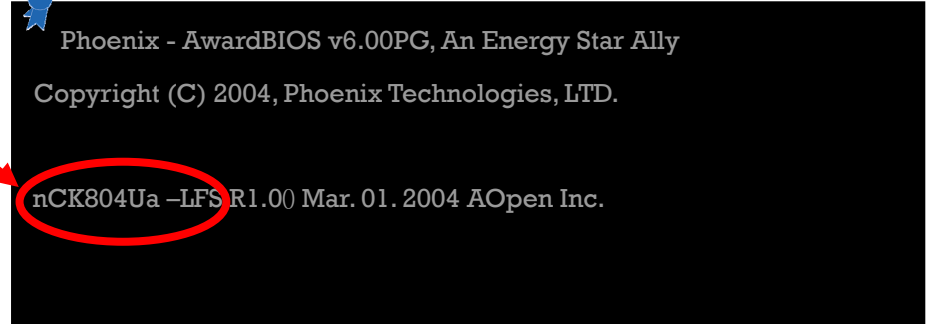
システムのブートに関係したトラブルが起きたなら、問題を解決するために以下の手順に従ってください。



*1 ご使用のモニタがオンボードVGAポートに接続されている場合、VGAカードのインストールは不要です。
 *2 オンボードVGAポートに接続して画面が表示されない場合は、オンボードVGAデバイスに問題がある可能性があります。

モデル名と BIOS バージョン

モデル名と BIOS バージョンはブートの最初の画面(POST 画面)の上部左に現れます。例えば：



nCK804a-LFS はマザーボードのモデル名で、R1.00はBIOSバージョンです。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

エラー音	メッセージ
1 回短く (・)	システムのブートが正常
2 回短く (・・)	BIOS設定エラー
1 回長く - 1 回短く (-・)	メモリエラー
1 回長く - 2 回短く (-・・)	AGPエラー (VGAカードかモニターの接続エラー)
1 回長く - 3 回短く (-・・・)	VGAカードエラー (オンボードVGA利用時はメモリエラー含む)
長いエラー音が継続 (- - - -)	メモリエラー (メモリが正しく装着されていない、正しく認識していない)



テクニカルサポート

お客様各位

この度は AOpen 製品をお選びくださりありがとうございます。今後の良質なサービスを保証する Club AOpen のゴールド会員になるために <http://www.aopen.com> で登録して下さるようお願いいたします。お客様各位への最良のサービスを維持できるよう、下記の手順に従い、皆様がお買い求めになった地域に従って、各地の支店からサービスをお受けになるようお願い致します。皆様のご協力によって、全てのお客様への効果的で最良のサービスを提供し続けてまいります。

ご理解に厚く感謝致します。

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Email: Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

環太平洋地域

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ヨーロッパ Email: Support@AOpen.NL

環太平洋 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

中国 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

ドイツ <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

アメリカ <http://usa.aopen.com/tech/default.htm>

日本 <http://aopen.jp/tech/index.html>

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログオンし必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイージーインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。

<http://aopen.jp/tech/report/index.html>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログオンし必要な言語を指定してから問題の解決方法を見えます。

<http://aopen.jp/tech/faq/index.html>

ソフトウェアのダウンロード：ログオンして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログオンしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。

<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。